平成２０年度第１回美浜区公民館運営審議会議事録

１　会議の名称　　平成２０年度第１回美浜区公民館運営審議会
２　日　　時　　平成２０年７月９日（火）午後２時～３時４０分
３　場　　所　　稲浜公民館　本館　２階研修室
４　出 席 者　　（委　員）
蟹江将生委員長　伊藤正昭副委員長、池田謙司委員、井谷芳明委員
加瀬和子委員、笹木茂委員、恒岡典子委員、長倉祐作委員
西尾葉子委員、松井喜代司委員
（事務局）
澤塚稲浜公民館長(中核館)、君島幕張西公民館長、齊藤磯辺公民館長
植草幸町公民館長、日下高浜公民館長、詫摩打瀬公民館長
青沼稲浜公民館副館長、根本同館副主査

５　議　　題
（１）　平成１９年度利用状況報告について
（２）　平成１９年度事業報告について
（３）　平成２０年度事業計画について
（４）その他

６　議事の概要
議事の前に、委員の互選により委員長に蟹江将生委員、副委員長に伊藤正昭委員を選出し、議事録署名人を井谷芳明委員と恒岡典子委員とした。
経過
蟹江委員　長倉委員の再選がいい
長倉委員　蟹江委員を推薦したい。
との提案があり、一同に図ったところ全員一致で、蟹江委員を委員長に決定した。
副委員長は伊藤委員を全員一致で決定した。
（１）平成１９年度各公民館の利用状況について
①公民館利用状況
②公民館図書室運営状況
資料に基づき中核公民館副館長が説明した。
（２）平成１９年度事業報告について
資料に基づき中核公民館長及び各館長が説明した。
（３）平成２０年度事業計画について
資料に基づき中核公民館長及び各館長が説明した。
（４）その他
①第４９回関東甲信越静公民館研究大会について
中核公民館長が説明した。
②委員長より運営審議委員に対する、課としての「千葉市社会教育の方針」についての説明の機会を

作ってほしいとの要望が出された。

7　会議の経過

議題の審議

委員長　(１)～(２)の平成１９年度利用状況報告、平成１９年度事業報告について一括して事務局から説明を求める。

事務局　会議の資料に沿って説明する。

委員長　意見、質問を求める。

委員　　公民館図書室と図書館との相違について。

事務局　所管が図書館は中央図書館で、公民館図書室は生涯学習振興課である。
体制的に図書館は、図書館司書を配置し、充実している。公民館図書室は職員と非常勤職員で対応している。内容的には図書館と連携し、本の貸し出しもメールカーで２日後くらいには借りられる。予算規模も公民館は少ないし、蔵書数も少なくご迷惑をかけている。

委員　　開館日数もかなり違う。図書館は休みが多い、住民側からすると公民館に併設されている図書館であっても、市民サービスの平等性の観点から、開館日を増やして欲しいものだ。

事務局　公民館図書室は９時４５分から５時までで、中央図書館は午前９時半から夜９時まで、祝日も開館している。地区図書館は９時から５時１５分までの開館で、できるだけ市民ニーズに答えられるよう市では、委員会を立ち上げ検討中と聞いている。

委員長　（３）２０年度の事業計画について事務局から説明を求める。

事務局　会議の資料に沿って中核公民館長および地区公民館長が説明をする。

委員長　意見、質問を求める。

委員　　各公民館に人気が高い講座があると思うが、区内の公民館とも情報交換して講座の充実を図って欲しい。
高浜公民館では、生け花とか着付けの評判が高く、若い人の参加が目立つ。小さな子や、お年寄りに偏ったプログラムだけでなく、子どもが大人に、またお年寄りになったときに公民館に帰ってこられるプログラム構成を考えてほしい。

事務局　毎月１回の館長会議、２か月に１回事業を計画する主事部会を開催し話し合いを常にもっている。人気のある講座の情報、受講者が少なかった講座の原因の究明など、常に話し合えるよう努めている。喜んでもらえる事業の実施に取り組んでいきたい。

委員　　ビオトープのことが新聞に掲載されていたが。

委員　　稲毛第二小学校のビオトープの経緯について説明する。美浜区内では最初２０年くらい前幸町の小学校に造った。その後、伊藤校長が稲毛第２小学校に造った。一時期学校の都合などで休止した時期もある。再開するにあたり、積極的にやる人もいないので、公民館の事業としてやった。よき指導者にも恵まれ催しも企画され、平成１８年には文部科学大臣表彰を受け、新聞にも取り上げられるようになった。管内の他の小中学校にもぜひ造ってほしい。

委員長　昔は世の中全体がビオトープみたいなもので造ることはなかった、１回ご覧になったら。
活動してくれる先生が在任中だけ、いなくなると継続しない。学校としても先生が変わっても継続される体制をつくってほしい。

委員　　陶芸教室について人気が高いということだが、美浜区には陶芸窯を持つ公民館が１館しかないとのことだが、高浜第三小学校に窯があるので地域で使っていけばと思う。

委員長　高浜第三小学校の窯を公民館活動の一環として活用できるよう、本課と相談してほしい。

事務局　さっそく確認をとりたい。

委員　各館の事業内容の縮減化は、遊び、お菓子づくり等に偏重する傾向が認められ、画一的な形式主義に流されていないか。小中学校のオブリゲーションの欠如を寂しく思う。各小中学校の生徒数の何パーセントくらい公民館を利用しているか、職員が理解しているか、次回各館に聞きたい。

事務局　各館ごとに資料を作成し報告したい。

委員　この問題は以前に出して回答も報告も受けてない。

委員長　今の意見で、小中学校での利用状況はデータはあるのか。

事務局　年齢別の利用状況データがある。

委員長　学校がいくつ、生徒数は何人か、単純計算で利用率は何パーセントか、数字はでるので整理して各委員さんに、郵送でも渡していただくということでよろしいか。

委員　小学生の利用はあるのに、中高生は図書室、職場体験でしか利用がない。中学生が来なくなる理由を委員に聞きたい。

委員　子どもを取り巻く環境は大きく変化し、朝から夕方まで学校、更に部活動・塾があり、子ども自体が目的意識を持って行動をしていることから余裕の時間が作れない。実際の生活の時間の中で公民館にも目標に沿ったものがあれば、例えば日本文化に関心のある子どもが、そのような講座に参加するかもしれない。

委員　図書館には来るが

委員　調べたいことがあれば身近な図書館に行くだろうし、解決できなければ中央図書館に行く。図書館はいつでもいける。

委員　高浜公民館では自由なフロアを作っている、利用人数には出てこないが中学生も来ている。

委員　学習室でなくフロアで勉強している風景を目にするが、そういうのはカウントしているのか。

事務局　公民館の利用者数には入らない。報告時に意見として付ける。

委員　小学生はどうか。

委員　夏休みが近づくと公民館からのチラシが配られる、何人行くのかの追跡調査はしていないのでわからない。効果についても把握していない。少子化の影響で、土・日曜日はスポーツクラブ等で忙しい。学校下校時にセーフティーウォッチャーがいる現実の中で、安全であるか場所によっては難しい。公民館に行くようにとは言えない。１９年度の実績を出しても、効果があったのかは点で押さえないと、一概に数字だけでは判断できない。

委員　稲浜公民館ではガールスカウト・ボーイスカウトが利用があるが、数に入っているか。

事務局　入っている。

委員長　公民館でやっている事業は学校でやらないものの補完的な意味がある、学校で教えてくれない工作教室など講師を呼んで丁寧にやってくれる等、よく機能している。

委員長　それでは事業計画について異議ございませんか。

委員　承　認

委員長　(4)　その他の事項について事務局に説明を求める。

事務局　中核公民館長より第４９回関東甲信越静公民館研究大会について説明。

委員　公民館研究大会について、今回は本市が全国大会の会場で千葉県大会になっている、ぜひ参加して欲しい。

委員長　皆さんに図りたいことがある。公民館全体の運営を考えると千葉市の社会教育行政はどういう方向なのか。運営審議会は２回あるが、新年度はこういう方向で行くということを課長、部長でも運営審議会の前に１回説明の機会を設定してほしい。先般も公民館の図書費が大幅に減り、さらに翌年減ると思う。中央図書館の場合は２億円が約７千万円に、幸町公民館も２００万円から１００万円と半減という状況はとても考えられない。
次回の運営審議会は来年３月なので、途中臨時で開くとなると運営審議委員の希望もとりたい。勉強会の形でもいいし、話し合ってみる。新年度千葉市は社会教育をこう考えるとの説明が欲しい。教育委員会に要請したいがよろしいか。

委員　一同賛同

委員長　今日は皆さん長い間ご苦労様でした。ほかにご意見がないようですので平成２０年度の第１回運営審議会を閉会いたします。

問合せ先　千葉市教育委員会生涯学習部稲浜公民館
電　話　２４７－８５５５